



シリーズ

えがったなめ



- ♥どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか?
共通の知合いがきっかけです。
- ♥嫁いできて、舟形町での生活はどうか?
まだ分かりませんが、これからが楽しみです。
- ♥舟形町の良いところ・改善してほしいところは?
子育てのしやすい環境で嬉しい。
- ♥舟形町に望むことはありますか?
遊具を増やしてほしい。

【お願い】「えがったなめ」に出てみませんか。
舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。
(連絡先) 舟形町役場議会事務局 ☎32-0030(直通)

今回は、一ノ関の
沼沢 康幸さんと結婚した、
新庄市出身の尚なお(旧姓:元木)
さんです。
皆さんよろしくお祈りします。



皆さんの声を掲載する欄
です。議会に対するご意見
・ご要望等、どうぞお気軽
にお寄せくださるようお待
ちしています。



町母親委員長
こんだ
今田久美子さん(舟形第3)

(議会より)
子どもたちの食育活動を
応援します。

去る11月、町母親委員会主催の講演会があり
ました。講師は「弁当の日」の提唱者の竹下和
男先生です。「弁当の日」とは、子どもが自分で
作った弁当を持って学校に行く日のことです。
子どもが、自分で献立を考え、材料を買い、調
理して、弁当箱に詰め、後片づけまでひとり
こなすのです。大切なルールは「親は手伝わな
いこと」だそうです。
「弁当の日」が生まれたきっかけは、学校給
食にありました。毎日当たり前のように出てく
る給食には、たくさんの人が関わっています。
たくさんの方が詰まっています。その給食の
向こう側を、子どもたちに体験を通して感じ
てほしいという、願いから始まった取り組み
です。「食べることは生きること」、本当にその
通りです。私も子どもを台所に立たせてみよう
と思いました。
舟形町でも、子どもたち一人ひとりが生きて
いく強さを身につけられるように、食育活動に
力を入れてほしいと希望します。

編集後記
明けましておめでとござ
います。
今年も雪との戦いからの
スタートとなりました。1
月上旬の県内は暴風雪被害
が続発し、交通機関の乱れ
や雪害事故、交通事故が多
発しました。
昨年の12月頃からコロナ
ウィルスの感染が落ち着く
傾向に見られましたが、新
変異株で感染力が強いとさ
れるオミクロン株が猛威を
ふるい始め、1月13日に県
内の新規感染者が42人とな
り、第6波に突入したとの
認識も示されました。
今年こそはマスクをしな
い以前のような生活に戻り、
普段の日常になることを願
いたいものです。
(伊藤 欽一 記)

発行責任者
議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 小国 浩文
副委員長 石山 和春
委員 伊藤 欽一
委員 荒澤 広光
委員 叶 内 昌樹